

**令和8年度第1回宮崎県地方独立行政法人評価委員会
議事要旨**

1 開催日時 令和8年7月6日（月） 13：30～15：00

2 場 所 宮崎県立看護大学附属図書館2階 多目的ホール

3 出席委員 神奈川県立保健福祉大学教授 石原 美和 ※五十音順
宮崎県看護協会会長 久保 敦子
公認会計士 高妻 和寛
宮崎県医師会副会長 小牧 斎
宮崎大学理事補佐 伊達 紫

4 審議概要

議事（1）公立大学法人宮崎県立看護大学の令和7年度業務実績報告について

（令和7年度業務実績報告書の大項目第1まで）

看護大学から資料の説明を行い、委員質疑を行った。主な質疑は以下のとおり。

- | | |
|---------|--|
| 【久保委員】 | 就職率の向上は嬉しく思う。推薦入学生支援専門部会というのはどのようなことを行っているのか。 |
| 【看護大学】 | 入学前教育や、スタートアップ講座による在学生との交流などをはじめ、入学前から就職まで、学習面や生活面での支援を行うため立ち上げた部会となる。 |
| 【久保委員】 | 一般入試で入学してきた学生に対しても同様の支援を行うと、県内就職率アップにもつながるのではないかと思います。 |
| 【伊達委員長】 | 入学前教育等を受けた生徒からの評判など、手応えは。 |
| 【看護大学】 | 12月のスタートアップ講座は合格発表から間もない時期ということもあり、新入生・保護者ともに非常に前向きに参加している。在学生も積極的に協力し、交流を深めている。また、このタイミングで「自然科学基礎力テスト」を実施し、4月（一般選抜生が初めて受けるタイミング）にもう一度実施する。これにより推薦生の合格後の学習意欲維持・促進を図っている。 |
| 【小牧委員】 | 「附属図書館でデータベース等の電子書籍を新規導入した」とあるが、これは初めての取り組みか。 |
| 【看護大学】 | 以前から電子データベース等があったが、今回「CINAHL Ultimate」をアップグレードして閲覧可能雑誌数を大幅に増やした。また「メディカルオンライン イーブックス ライブラリー」の閲覧可能冊数も増やし、利便性を向上させた。 |
| 【看護大学】 | 限られた予算の中で、学生のみならず県内の看護・医療職の方々にも活用いただける図書館を目指して、方針を策定し運用している。 |

- 【石原委員】 保健師と助産師の国家試験合格率 100%の維持について、保健師・助産師課程の実際の受験者数は何名だったのか。また、保健師課程の定員は。
- 【看護大学】 昨年度の保健師国家試験の受験者は 2 名、別科助産専攻は 15 名で、ともに合格率 100%を達成した。
保健師課程の入学定員は 6 名である。今回は入学時 5 名在籍（うち 1 名は 2 年次途中で退学）していたが、国家試験受験前に修士論文を仕上げる必要があった。しかし、データ収集の遅れ等で 2 名の修士論文作成が間に合わず、卒業要件（修了要件）を満たせなかったため今回は受験していない。この 2 名は現在、今年度の受験・修了に向けて論文作成を進めている。
- 【石原委員】 市町村において、実際にどの程度の保健師の需要（養成ニーズ）があるのか。
- 【看護大学】 以前は学部選択制で保健師養成を行っていたが、保健師教育の高度化や、将来リーダーシップを発揮できる保健師を養成する目的から、大学院修士課程（定員6名）での養成に舵を切った。現在はコロナ禍を経て再び保健師のニーズが高まっているとは感じており、看護協会と共に調査を行うなどしている。
- 【高妻委員】 中山医学大学との協定締結に関連して、他に学術協定を締結している大学などはあるか。
- 【看護大学】 韓国、インドネシア、タイの大学と協定を締結している。
- 【小牧委員】 こうした交流は非常に大事。一方で、情勢が不安定な時もあるかもしれないので、各国の状況には気を配ってほしい。
- 【看護大学】 学生の安全確保には十分に気をつけながら取り組んでいきたい。
- 【伊達委員長】 生成AIについて、現在、生成AIの進化に対して多くの大学や組織がルール作りに苦慮しているが、具体的にどのような方針を定めたのか。
- 【看護大学】 学生および教職員向けに生成AIの利用方針を周知しており、学生に対しては「生成AIはあくまで学修補助ツールであり、生成された内容をそのままレポートや論文に使用してはならない」という基本姿勢を徹底している。教員に対しては、授業や課題ごとに使用の可否（レポートへの使用禁止など）をシラバス等で明示するよう求めている。また、教職員の研修会も開催し、生成AIを活用した業務効率化や教材開発の方法を共有した。データが外部に漏れない安全な環境で運用しているが、個人情報や著作権の取り扱いには十分に注意するよう指導している。
- 【伊達委員長】 学生がレポート課題などで生成AIを使用した場合、大学側はどのように見極めているのか。

【看護大学】	教員が事前に「この課題は生成AI使用不可」等のルールを厳格に示しており、ルール違反が発覚した場合は成績評価にも影響する旨を明確にしている。AIの進化に伴い見極めは困難になりつつあるが、プロセスの確認等も含めて今後も継続してルールをアップデートしていく。
【伊達委員長】	学生確保の取組について、色々行っていると思うが、B評価の理由は。
【看護大学】	推薦入試制度の改善やサマースクールの実施など色々行っているが、新規の取組と言うより継続して行っているものがメインであったためB評価としている。
【石原委員】	看護師国家試験結果に関連して、出口だけでなく入学時における状況も関係していると思うが、何か対策等はあるか。
【看護大学】	学修習慣が身につかなかったことが主な要因と考える。今後の少子化の中で、学生の学力の低下を防ぐことは大変重要な課題であり、今後のアプローチを考える必要がある。
【石原委員】	大学入試時点における対策も重要かと思う。また、外国人や学士の学生確保等はどのような状況か。
【看護大学】	学士の入学生はこれまでいたが、外国人はやはり言葉の壁が課題になると考える。
【看護大学】	入試においても看護師への意欲等の見極めが大事だが、入試時点での状況よりも、入学してからのモチベーション維持・学力維持が重要と考えている。

議事（１）公立大学法人宮崎県立看護大学の令和７年度業務実績報告について

（令和７年度業務実績報告書の大項目第２から第５及び財務諸表等）
看護大学から資料の説明を行い、委員質疑を行った。主な質疑は以下のとおり。

【高妻委員】	財務諸表の３ページ「財務収益」において、受取利息が前年度の約20万円から約110万円へと大幅に（約90万円）増加しているが、これはどういった要因か。
【看護大学】	本学では現在、定期預金での資金運用は行っておらず、すべて普通預金の利息によるものである。昨今の金利上昇に伴い、普通預金の利息が増加したことが主な要因である。
【高妻委員】	今までは低金利時代で定期預金も利息が少なかったが、金利のある世界が再来しつつあると言われている。収入・支出のタイミングに数ヶ月のタイムラグがある資金があるなら、短期の定期預金に預け入れるなど、今後の資金繰りを見ながら設計を検討してもいいのではと思う。

【看護大学】	今後は金利変動の状況に応じて検討を行いたいと思う。
【伊達委員長】	大学の施設設備の改修の状況や今後の進め方は。
【看護大学】	開学より30年が経過し、外壁の傷みや雨漏り等が発生している箇所もある。「長寿命化計画」に基づいて、大学運営に支障のないよう優先順位をつけて計画的に改修を進めていく。

議事（２）今後のスケジュール等について

事務局から資料を説明し、事務局の説明のとおりスケジュールとすることを決定。